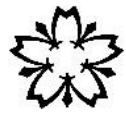


創立 95 周年 [昭和6年(1931年)9月1日開校]



五本木小 CS だより

「いのちのボタンをつなぐユネスコスクールの子」

第2号

令和8年7月

目黒区立五本木小学校
学校運営協議会会長 木崎 陽一
校長 海老江直子

<教育目標>

持続可能な社会の実現のために行動できる 将来の担い手となる子どもを育てる

- よく考える子
- 心豊かな子
- 元気な子
- やりとげる子



学校運営協議会委員に、五本木小学校教員の ESD 研修に参加していただきました。

第 1 回学校運営協議会 (R8.4.20) ～ESD 研修参観～



第4学年ユネスコ学習 (五本木タイム) 『MGR100プロジェクト』

ユネスコ学習で「MGR100プロジェクト」に取り組みました。これは目黒区の取組の一つで、「一人1日あたり100グラムのごみ減量」に向けた合言葉、M (目黒)・G (ごみ)・R (リデュース)・100グラムの略称です。

区役所の方から目黒区のごみの現状や、プロジェクトの進捗などを聞き、そこからごみを減らすために自分たちにできることを考え、実際に取り組んでみました。

さらに、MGR100を五本木小学校のみんなにも広めていくために、動画やポスター、全校放送など呼びかけました。それぞれが自分にできる方法を使って、活動を進めました。

このプロジェクトは終わりましたが、ごみ問題はまだ解決していません。この活動をきっかけに、今まで以上にごみの減量・分別を意識して行動してほしいです。

12 つくる責任
つかう責任



11 住み続けられる
まちづくりを



めぐろコミュニティ・スクールの魅力

「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を一体的に行うことで...

子どもたちにとって	保護者にとって
●学びや体験活動の充実 ●地域への愛着を育む ●身近な大人モデルの存在を知る	●学校や地域に対する理解が深まる ●地域の中で子育てする安心感 ●地域の方との人間関係が構築される
地域にとって	学校にとって
●経験や特技を生かせる生きがいがつながる ●学校を核としたつながりができる ●地域の活性化	●「社会に開かれた教育課程」の実現 ●子どもと向き合う時間の確保 ●生き方を考えるキャリア教育の充実

■学校・家庭・地域で

これからの子どもたちの理想の姿を考えていきましょう。コミュニティ・スクール＝「行事を一緒にやること」ではありません。同じ目標をもち、共に同じ方向を向いて、関係者が当事者意識をもって一緒に考えることが重要です。大切なことは「目指す児童・生徒像を実現するために、どんな取組が必要になるのか」ということをよく考えて、熟慮(=熟慮と議論を重ねること)をしていくことです。子どもを地域全体で育てるため、ちょっと先の未来をつくる気持ちで、一歩ずつ、できることから始めていきましょう。

地域応援団の活動例

